

昭和三十一年度金沢大学学生募集要項

一、募集人員

法文学部		法学課程	約
第一部		国語科、英語科、社会科	約二〇〇名
第二部		数学科、理科、音楽科、美術科、保健科、家庭科	約一〇〇名
第三部		EDCBA、職業科、家庭科	約一〇〇名
特別教育科		特別教育科、小学校教員養成課程	約一〇〇名
理学部		数学、物理、化学、生物、地学	約二〇〇名
医学部		医学、歯学、薬学	約一〇〇名
工学部		土木工学科、機械工学科、電気工学科、化学工学科、機械工学専攻課程、紡織工学専攻課程	約一〇〇名

二、入学資格

- 1 高等学校を卒業した者、通常の課程による十二年の学校教育を修了した者、(通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む)
- 2 高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者、外国において学校教育における十二年の課程を修了した者、
- 3 入学者の選抜は、学力検査、身体検査および出身学校から提出された調査書による。

三、学力検査

学力検査は高等学校卒業の学力を標準として、左表に示す五教科について行い、出願の際、受検希望の科目を、国語を除く他の四教科について、表の下欄の区分により選択し、あらかじめ志願者名票により届け出なければならぬ。選択した科目以外では受検できない。

教科	科目	区分
国語	一般社会、日本史、世界史、地理、人文地理、時事問題	国語を主とするが、問題に漢文も加え、その内から数題を選択解答させる。国語の中に作文を含む。
数学	算数、代数学、幾何学、解析学	二科目を選択する。
理科	物理学、化学、生物、地学	法文学部の受験者は、二科目を選択する。理医学部、薬学部、工学部の受験者は、二科目を選択する。工学部の受験者は、別項による。
外国語	英語、ドイツ語	一か国語を選択する。

一、教育学部の受験者は、社会および理科の選択については、「社会二科目・理科二科目」または、「社会一科目・理科二科目」のいずれかの選択方法による。

二、教育学部第三部および特別教科体育科の志願者には、右のほか実技のテストを、また第二部「C」音楽科、図画工作科の志願者にはそれぞれ志望学科の実技のテストを行う。

2 学力検査日時

日	時	午前	午後
三月三日(日)	国語(九、一〇、一一、一二、一三)	社会(一科目) 一、〇〇—一、二〇	
三月四日(月)	外国語(九、一〇、一一、一二、一三)	理科(二科目) 一、〇〇—一、二〇	
三月五日(火)	数学(九、一〇、一一、一二、一三)	実技テスト(二科目) 一、〇〇—一、二〇	

3 身体検査

イ 提出された身体検査証明書によつて審査し、必要と認める者について本学において身体検査を行う。検査を要する者の受験番号および検査に関する事項は、三月五日学力検査終了後各試験場に掲示する。

昭和三十一年十月

ロ 合格者については、入学式の前日あらためて本学において必要な検査を行う。

4 調査書

イ 文部省所定の様式により出身学校で作成したもの。(氏名上の欄外に志願学部を記入のこと。)

志願者から直接出願書類を提出する場合は、学校長において厳封を要する。

ロ 大学入学資格検定試験の合格者は、当該試験の成績証明書を提出して調査書に替える。

ハ 調査書の提出困難な学校(廃校、罹災等)等の出身者は、その旨を証明した書類をもつて調査書に替える。

ニ 外地引揚者は、引揚事務を所管する機関の長の証明書をもちて調査書に替えてもよい。

四、合格者発表

合格者の氏名は、三月二十日ころ本学教養部掲示場に発表し、且つ郵便で本人あて通知する。

五、出願手続

1 願書受付期間

昭和三十一年二月一日から昭和三十一年二月十六日まで。毎日午前九時から午後五時まで。但し、土曜日は、正午までとし、日曜日を除く。

2 願書提出先及び学力検査場

学部	願書受付場所	学力検査場	所在地
法文学部	法文学部	法文学部	金沢市大手町一
教育学部	教育学部	教育学部	金沢市仙石町三七
理医学部	理医学部	理医学部	金沢市土取場永町一五
薬学部	薬学部	薬学部	金沢市土取場永町一五
工学部	工学部	工学部	金沢市上野本町丁五五

3 志望順位

次の学部では、同一学部内で第一、第二志望の出願ができる。

4 提出書類及び要領

- イ 志願者名票 本学所定の用紙による。
- ロ 写真二葉 正面向半身脱帽で出願前三か月以内に撮影したもの。本学所定の用紙にのり付する。
- ハ 入学検定料 金壱千円(現金または郵便小為替証書)
- ニ 調査書 「三ノ四」参照。
- ホ 身体検査証明書 本学所定の用紙に限る。
- ヘ 封筒一枚 受験票等送付のため、自己の住所氏名を明記し拾円切手をはつたもの。

(注) 一、出願当時大学に在籍する者は、当該大学の受験許可書を添付すること。

二、外国人の志願者は、右の出願書類と共に外国人登録証明書を添付すること。

注意

出願書類を郵送する場合は、封筒の表に「入学願書」と朱書きし、必ず書留郵便とすること。

出願手続後は、いかなる事情があつても書類の変更、検定料の払いもどしはしない。

出願手続に不正の事実があつた場合は、入学許可を取り消す。

出願書類の郵送を希望する者は、自己のあて名を記載し八円切手をはつた封筒を同封して、金沢市大手町一金沢大学学生部教務係あて申し込むこと。

受験に際し本学に照会の際は、志願学部、受験番号を記入し、往復はがき又は返信用封筒(あて名および切手をはつたもの)同封のこと。電信、電話等による問合せは一切応じない。

金沢大学入学志願者のための案内

一、本学の学部・学科は次の通りである。

法 文 学 部	法学課程（法学科、経済学科） 文学課程（哲学科、史学科、文学科）
教 育 学 部	（第一部甲類、第一部乙類、第二部、第三部、特別教科体育科、ろう教育小学校教員養成課程）
理 学 部	（数学科、物理学科、化学科、生物学科（動物専攻、植物専攻） 地学科）
医 学 部	（医学科）
薬 学 部	（薬学科）
工 学 部	（土木工学科、機械工学科機械工学専攻、機械工学科紡織工学専攻、工業化学科、化学機械学科、電気工学科）

一、教育学部について

- 1 修業年限四年のもの
第一部甲類（小学校教員志望者） 第二部（各教科の中学校教員志望者） 第三部（高等学校保健体育科教員志望者）
特別教科体育科（中学校および高等学校保健体育科教員志望者）
修業年限二年のもの
- 2 第一部乙類（小学校教員志望者） ろう教育小学校教員養成課程（ろう教育小学校教員志望者）
- 3 第一部乙類の志願者は、名票裏面へ第二志望として、ろう教育小学校教員養成課程を選ぶことができる。その他の課程の志願者は、第二志望の出願はできない。
- 4 第二部の志願者は、A B C D Eの五つの教科群について、その専攻希望の教科群を第二志望まで選び名票裏面へ記入すること。なお専門課程では、入学を許可された教科群のうちの一教科を選んで履修することになる。

一、工学部について

工学部の志願者は、学科または課程の中から二つを選び第一、第二志望の出願ができるが、更に工業教員希望の有・無を名票裏面記入欄へ必ず表示すること。

工業教員養成課程の收容人員は、土木工学科（約三名）、機械工学科（約四名）、工業化学科（約三名）、化学機械学科（約二名）、電気工学科（約三名）、計約一五名である。

工業教員養成課程を修める者は、各学科それぞれ所定の課程、科目を履修する外、教職科目を必修しなければならない。これにより工学士の称号および高等学校（工業）二級普通免許状が与えられる。

一、法文学部、理学部、薬学部について

法文学部、理学部、薬学部の学生で各学部所定の課程の外、教職科目を履修した者はそれぞれ学部所定の教科につき中学校一級普通免許状高等学校二級普通免許状が与えられる。

一、学科履修について

大学入学後初めの一年半（医学部進学課程は二年）は、すべて本学教養部で主として一般教養課程を履修する。但し、教育学部二年課程学生の一般教育は、教育学部において履修する。

後の二年半（医学部の専門課程は四年）は、それぞれの学部において専門課程を履修する。

一、色盲及び身体障害について

高度の色盲者は、次の学部、学科または専攻課程の履修は困難であるから入学志願に際し注意すること。

教育学部の第一部甲類、第一部乙類、ろう教育、第二部（理科、図画工作科、保健科、家庭科、職業科専攻）

理 学 部 の 物 理 学 科、化学科、地学科

医 学 部

薬 学 部

工学部の全学科

また学部、学科によつては（例えば教育学部、工学部）入学後における学習上高度の弱視、発音障害、聴力障害、上肢下肢障害、その他著しい運動障害のある者は、入学困難である。

なお結核、トラコーマ等の伝染性疾患の重症者、ならびに学習上支障があると認められるその他疾病の重症者は、入学を許可されない。

一、学 資、その他

- 1 入学の際の費用としては、入学金七千円、授業料一期分金四千五百円（年額九千円を二期に分納）を納入しなければならない。
- 2 寮および下宿費
寮生活者は、二食付約二千元、下宿者は同様五千円程度で、入寮者は学費共一か月五、六千円、下宿者は七、八千円が普通である。但し寮は收容人員に限度があり、希望者の一部（大体七〇名内外）しか入寮できない。
- 3 理学部、医学部、薬学部、工学部等の理科系学部では、実習用器材等の購入のため、一般教養課程では年額一千円乃至二千元、専門課程においては年額三千円乃至五千円位を負担させることがある。
- 4 専門課程に入ると専門図書、研究旅行、実習等の出費が不定期に必要となる場合がある。
- 5 学生後援会（仮称）が結成されるかも知れない。結成された場合にはその会費（額未定）が必要となる。

◎ 宿舍斡旋について

学力検査中、遠隔地の受験者に対して便宜を計るため、宿舍を斡旋するが、それに関する詳細ならびに申込方法等については、受験票送付の際に同封する。